

吹奏楽部 (男子 3 名、女子 34 名)

私たち吹奏楽部は、「一音心奏」を合言葉に、毎日練習に励んでいます。日々の練習では、美しい音を追究するとともに、挨拶や返事、清掃などにも力を入れ、人間的成長と仲間作りを心掛けています。音楽を通じて、地域の方達とつながり、楽しんでいただけることが、私たちの喜びです。

練習時間 平日 16:00~19:00
休日 9:00~13:00

第 6 回定期演奏会 予定
平成 25 年 3 月 24 日(日) 13:00 開場 13:30 開演
養老町民会館 (養老町中央公民館内)

創部以来の大会成績 (いずれも県大会 B 編成の部)

年度	成績	曲目	トピック	部員
H18	銅賞	ドリーブ作曲 バレエ音楽「シルヴィア」より前奏曲・狩りの女神	音楽室で活動開始	25 名
H19	銀賞	福島弘和作曲 花の歌	伊藤先生講師に着任	20 名
H20	金賞	バーンズ作曲 ドイツ民謡によるコラール・プレリュード	指揮 伊藤 一彦	33 名
H21	金賞	ロバート・W・スミス 伝説のアイランド	指揮 伊藤 一彦	33 名
H22	金賞 東海 銀賞	ギリングハム作曲 エアロダイナミクス	指揮 伊藤 一彦	30 名
H23	金賞 東海 銀賞	シCHEDリン作曲 せむしの仔馬 ※中部日本吹奏楽コンクールでは、「優勝」受賞	指揮 伊藤 一彦	30 名

平成 23 年度を振り返って

平成 23 年度は、岐阜県吹奏楽コンクール B 編成の部で 2 年連続の県代表になり、静

岡市で行われた第 66 回東海吹奏楽コンクールで銀賞をいただくことができました。10 月には、「特別演奏会」を開催しました。また、学校の 90 周年記念講演会での演奏に加え、地域での演奏も、活発に行っており、アクアウオーク、養老サービスエリア、養老の郷、養老秋祭り、西美濃農協祭、等で演奏しました。3 月には、第 5 回定期演奏会を開催し、多くのお客さまにご来場いただきました。



第 5 回 定期演奏会(H24.3.25)

平成 24 年度は…

平成 24 年度は、連盟の規定（B 編成で 2 年連続代表になった団体は、A 編成で出演）で A 編成でのコンクール出場になります。55 名まで出場可能な部門へ 37 名で出場することは、大いに不利になりますが、磨き抜いたサウンドで勝負していきたいと考えています。目下、講師の伊藤一彦先生のご指導の下、心を一つにして頑張っています。

学校統合から創部まで

吹奏楽部は、旧養老女子商業高校の部活動でした。平成 17 年度の夏まで、養老校舎（旧養老女子）で活動していました。1 年生 1 人、2 年生 3 人、3 年生 10 人の計 14 人で夏のコンクールに出た後、3 年生が引退して、部員が 4 人になる大ピンチが訪れました。大垣校舎に活動拠点を移して、新しくスタートするしかないと決意したものの、旧大垣農業の大垣校舎には、音楽室がない！途方に暮れそうになったとき、産振棟 3 階の角にある空き部屋を貸していただくことが決まり、養老校舎の部員 3 人を顧問が毎日運んで半年間活動しました。流通情報実習室という名のその部屋は、理科の実験室のような雰囲気のある部屋でした。窓からは、建設中の東館の工事の様子がよく見えました。クレーンが動くときの警告音で「メリーさんの羊」のメロディーが流れていたことが不思議と記憶

に残っています。部員の方は、大垣校舎の生徒が入部してくれて8人に増え、顧問2人も楽器を吹いて吹奏楽祭や文化祭にも出演できました。翌年1年生が18人入部し、コンクールには途切れることなく出場できて今に至っていますが、学校統合の谷間で過ごした流通情報実習室での半年が、今の部活動の原点です。

なお、平成18年度入学生の頑張りが、今日の部活動発展の基礎となっているという認識の下、創部の年は平成18年と定めています。